

JIS Q 17050-1に基づく自己適合宣言書

文書番号 : VSR0005

発行者の名称 : 日本ベルックス株式会社

発行者の住所 : 東京都渋谷区千駄ヶ谷 1-23-14 ベニーリーフビル

宣言の対象 : 天窓、トップライト（付属書参照）

上記の宣言対象は、次の文書の要求事項に適合しています。

| <規格番号> | <規格名称> |
|---------------|-------------------------------|
| JIS R 3106 | 板ガラス類の透過率・反射率・放射率・日射熱取得率の試験方法 |
| JIS R 3107 | 板ガラス類の熱抵抗及び建築における熱貫流率の算定方法 |
| JIS A 4710 | 建具の断熱性試験方法 |
| BLT WDR:2015② | 優良住宅部品サッシ（天窓）性能試験方法 |
| WDR-02① | 断熱性試験(測定法) |

追加情報 : 適合性能項目は開口部の熱貫流率及び開口部の日射熱取得率です
: 別添の製品は、ISO9001に基づいた品質管理体制で供給されます。

問い合わせ先 : 日本ベルックス株式会社
東京都渋谷区千駄ヶ谷1-23-14 ベニーリーフビル
TEL : 03-3478-8141

代表者又は代理人の署名

民部田 達也 

発行日 : 2023年 5月 19日

発行部署 : 日本ベルックス(株) 技術部

役職名・氏名 : 部長 民部田 達也

この文書は、JIS Q 17050-1に基づき作成された自己宣言書です。

平成28年省エネルギー基準対応 JIS Q 17050-1に基づく自己適合宣言書（附属書）

・ ガラス構成ごとの開口部の熱貫流率・開口部の日射熱取得率

| シリーズ | 商品コード、仕様（上段） | 開口部の熱貫流率 W/m ² ・K（上段） | 日射熱取得率 | |
|---|--|--|-------------|------|
| | ガラス構成（下段） 室内側 - 中空層 - 室外側 | ガラス中央部の熱貫流率 W/m ² ・K（下段） | | |
| スカイビュー | A21 FS 3028 : FIX窓 網入り透明強化複層ガラス アルゴンガス仕様 7DW - 8G1 - 3HV | 2.21 1.7 | 0.29 | |
| | A21 FS 3004 : FIX窓 透明合わせ強化複層ガラス アルゴンガス仕様 2.52.5.2HS - 9G1 - 3HV | 2.0 1.5 | | 0.29 |
| | A21 VS 3028 : 開閉窓 網入り透明強化複層ガラス アルゴンガス仕様 7DW - 8G1 - 3HV | 2.14 1.7 | 0.29 | |
| | A21 VS 3004 : 開閉窓 透明合わせ強化複層ガラス アルゴンガス仕様 2.52.5HS - 9G1 - 3HV | 1.69 1.5 | | 0.29 |
| | ルーフウインドウ | V22 GGL 3057 : 開閉窓 透明合わせ強化複層ガラス アルゴンガス仕様 33.1V - 15G1 - 6HV | 1.75 1.0 | |
| | | V22 GGL 3026 : 開閉窓 網入り透明強化複層ガラス アルゴンガス仕様 7DW - 14G1 - 4HV | 1.68 1.0 | 0.29 |
| V22 GGU 3026 : 開閉窓 網入り透明強化複層ガラス アルゴンガス仕様 7DW - 14G1 - 4HV | | 1.76 1.0 | 0.29 | |
| V22 GGU 0066 : 開閉窓 透明合わせ強化三層ガラス アルゴンガス仕様 33.2V-12G1-3HSV-12G1-4H | | 1.43 0.5 | | 0.39 |
| フラット | | FCM 0035 : FIX窓 型板網入り強化複層ガラス アルゴンガス仕様 7DWO - 8G1 - 3HV | 2.28 1.7 | |

7DW : 磨き網入り6.8mm、3H : 強化ガラス3mm、8G1 : ガス（アルゴン）層8mm、V : Low-Eコーティング

7DWO : 型板網入り6.8mm、2.52.5HS : 倍強度合わせガラス2.5+2.5mm（中間膜厚30ミル）、9G1 : ガス（アルゴン）層9mm

33.1 : 合わせガラス3+3mm（中間膜厚15ミル）、15G1 : ガス（アルゴン）層15mm、6H : 強化ガラス6mm、14G1 : ガス（アルゴン）層14mm

33.2 : 合わせガラス3+3mm（中間膜厚30ミル）、12G1 : ガス（アルゴン）層12mm、3HS : 倍強度ガラス3mm、4H : 強化ガラス4mm

■本附属書について

- ・本附属書は、自己適合宣言書と合わせてご使用ください。
- ・本書の記載内容は、製品の仕様変更等によって、予告なく修正する場合がございます。あらかじめご了承ください。

■開口部の熱貫流率について

- ・JIS A 4710に基づき、BLT WDR-02①の試験方法により測定された代表試験体の試験値です。
- ・代表試験体は、国立研究開発法人 建築研究所ホームページ内「平成28年省エネルギー基準に準拠したエネルギー消費性能の評価に関する技術情報」の「窓・ドアの熱貫流率に関し試験体と同等の性能を有すると認められる評価品の範囲を定める基準」に基づきます。
- ※弊社トップライトは大部分がガラスで構成されている窓等の開口部で建具の仕様は木製建具（GGUは樹脂製建具）になります。
- ※VSEはVSと同等。またVS 3035、2028 およびFS 3035、2028 は3028と同等とみなす。FCM 0004は0035と同等とみなす。

■日射取得率

- ・国立研究開発法人 建築研究所ホームページ内「平成28年省エネルギー基準に準拠したエネルギー消費性能の評価に関する技術情報」の「開口部の垂直面日射取得率」に基づく値です。
- ※これらのデータは各種板ガラスの光学的性能・熱的性能を示す一般的な値であり、各商品の性能を保証するものではありません。

自己適合宣言書文書番号 : VSR0005

JIS Q 170501に基づく自己適合宣言書(附属書)

本附属書は、自己適合宣言書と合わせてお使い下さい。